

事務事業名		スポーツ・アクティビティ体験型交流創出・展開事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	013 賑わいあふれる商業・観光の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 令和元 年度～)	
	基本事業名	012 滞在型観光の推進		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 06 71	
所属	部課名	商工港湾部産業政策室		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	富澤 武弥			
	係名	電話	0192-27-3111		
	担当者	山本 淳一	内線 106		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 三陸地区の自然環境を生かしたスポーツ・アクティビティと地元の自然・文化・仕事を組み合わせた体験プログラムの提供を通じて、交流・関係人口の拡大と観光関連産業の裾野を広げ、総合産業化を目指す。 1 甫嶺復興交流推進センターの管理運営 2 甫嶺復興交流推進センター運営協議会の運営 3 アクティビティメニューの立案・検討 4 三陸アクティビティ推進協議会の運営 5 甫嶺復興交流推進センターの周知・PR 3 アクティビティメニューの周知・PR				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア スポーツ・アクティビティ及び体験プログラム提供事業者数 者	
甫嶺復興交流推進センターの整備 (多目的利用スペース、シャワールーム:12室、ドミトリー:72床ほか) アクティビティメニューの検討、ホームページの作成		イ	
甫嶺復興交流推進センター整備(非常用自家発電設備新設) アクティビティメニューによる観光客誘致 ホームページの運用開始		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民及び観光客(潜在的な観光客数)		名称 単位	
		カ 世界人口 百万人	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大船渡市で体験できるアクティビティ、観光スポット、イベント、宿泊施設、アクセス方法等を知ってもらう。		名称 単位	
		サ 甫嶺復興交流推進センターの施設利用者延べ人数 人	
		シ ホームページアクセス数 件	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・県内外から大船渡市を訪れることで、交流人口拡大につながる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円					28,560	174,362
	事業費計(A)		千円	0	0	0	0	28,560	3,551
	人件費	正規職員従事人数	人					2	2
		延べ業務時間	時間					1,000	4,000
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	4,000	16,000
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	32,560
⑤ 活動指標		ア 者					0	1	
⑥ 対象指標		カ 百万人					7,678	7,758	
⑦ 成果指標		サ 人					0	1,013	
		シ 件					0	0	

事務事業ID	1784	事務事業名	スポーツ・アクティビティ体験型交流創出・展開事業
--------	------	-------	--------------------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 三陸町越喜来地区から、震災後の復興事業として、旧甫嶺小学校の空き校舎の活用について、地域要望があった。地域要望を踏まえ、旧甫嶺小学校を中心施設として、市内の交流人口の増大を図ることを目的に、地方創生推進交付金の採択により、令和元年度に設計を委託、改修工事に着手、令和2年9月に工事が完了し、令和2年10月10日にオープンした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 観光客数は、震災後、平成26年をピークに減少傾向であり、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客入込数は大きく減少した。児童生徒数の減少による学校の統合により、旧学校用地の活用方法が検討され、旧甫嶺小学校の校舎は甫嶺復興交流推進センターとし整備し、グラウンドは、民間業者が三陸BMXスタジアムとして整備した。  
 なお、学校統合により閉校した他の旧学校用地についても、継続的に活用方法が検討されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 三陸地区の住民からは、旧甫嶺小学校の活用と三陸地区の観光客の増加によるにぎわいの創出が求められている。地域会社(株)三陸アクティブの開業のほか、日常の生業をアクティビティのメニューとして活用することにより、新たな雇用と就労の場として期待されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市総合計画等に基づき実施している事業であり、空き校舎の活用や、アクティビティメニューの検討と実施は、市内への来訪者を増やし、交流を創出することにつながるため、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 大船渡市を訪れる観光客が増え、宿泊や観光消費額が増えることによって、市内事業者にも利益をもたらし、地域経済の活性化が期待できることから、市が関わることは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象：新型コロナウイルス禍の状況であるが、アクティビティの愛好者は世界中に存在するため、拡大の余地はなく妥当である。 意図：交流・関係人口の拡大と観光関連産業の裾野を広げ、総合産業化を目指している事業であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 スポーツ・アクティビティ及び体験プログラム提供事業者数の増加に伴い、提供するメニューも増えるため、利用する観光客の増加が見込まれることから、向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 観光客誘客の手段、雇用の場が失われるなど、影響がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 新型コロナウイルス禍により利用者が少ない状況であることから、収束により利用者が増加した場合には、指定管理者の収支管理となるため、事業費の削減につながるが、旧校舎の経年劣化による老朽箇所(屋根等)を順次改修する必要があることから、当面の間は、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業スタートから間もない事業であり、指定管理者やプログラム提供事業者と伴走型の支援が必要なことから、これ以上削減することはできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、施設の管理については、地域住民で設立した(株)三陸アクティブに指定管理を委託している。各種事業に係る委託業務の発注に際しては、公募型プロポーザル方式を採用するなど、適切な事務執行を行っている。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	スポーツ・アクティビティ及び体験プログラム提供事業者数を増やし、観光客の増加を促進させる必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 甫嶺復興交流推進センターの受け入れ体制を強化するとともに、スポーツ・アクティビティ及び体験プログラムによる収益の仕組みを検討する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 スポーツ・観光関連サイト等にBMXやダイビング、体験プログラム等の情報を掲載するなど情報発信を実施し、当該施設を中心とした交流人口の拡大を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の収束後の誘客に向けたPR方法等について検討する必要がある。
---	---